世界学生環境サミット WSES2011

経済学研究科修士２年　大角　菜穂

■世界学生環境サミット World Students Environment Summit 2011 に参加して

2011 年 5 月に開催された第 4 回世界環境サミット 2011 に北大代表として私と環境科学院の Ped さんと出席しました。毎年 2 名の大学院生（現状）が参加しています。世界環境学生サミットは、現代の持続可能な社会の発展について様々な専門分野所属の学生が集まり、討論するという学生運営のサミットで 2007 年から始まったものです。私は、3 月に担当教授から紹介を受け、環境経済学を勉強してからサステナビリティに関心をもっていたこと、東日本大震災を受け日本への注目が世界中で集まっている中他国の学生はどう考えているのか討論したいという思いからすぐに応募を決めました。志願書（国際本部指定、英語）を作成、選考後奇跡的に合格し参加することができました。今年のサミットは 5 月 18 日から 22 日までスウェーデンのカールスクローナ、ブレキンゲ研究所で開催され、アジア、欧米、中東、アフリカなど 18 カ国から 65 名の幅広い専門分野、サステナビリティに関連を持つ組織にも所属しているなど様々なバックグラウンドの学生が集まりました。

私たちは日本から 16 日に出発し、カールスクローナに到着しました。さすがに長時間移動でへとへとでしたが、早入りのアジア圏からの参加者と合流し滞在地となる Dragso キャンプ場にチェックインし、サミットスタートです。キャンプ場ではコテージで 2、4、6、8 人部屋にくじで分けられ、私はモンゴル人の女の子と 2 人部屋になりました。2 人部屋なのでバス・トイレが公共となり少し不便でしたが、ルームメイトとは一番の仲良しになり、色々なことを話しました。

18 日は、早く到着した参加者のためのプログラムとして研究所・市内見学がありました。研究所は市内からバス 10 分、滞在先のキャンプ場は市内からバス 10 分、更にバス停から徒歩 20 分(！)という健康的な場所で、毎回の移動は大変でしたが、キャンプ場の空気や景色はスウェーデンの自然に囲まれ、すがすがしい気分でした。市内は典型的なスウェーデンの港町の雰囲気でカラフルな家にキラキラ光るバルト海が見え、素敵でした。また夜に他の地域の参加者も到着し、ラザニアチャレンジというグループに分かれてラザニア作りをゲームをしながら作る（材料や器具探し等）というウェルカムパーティーが開催され、一気にアイスブレイクが進みました。ただ時差ぼけと寒さから体調を崩し始め少し辛かったのが正直なところです。

19 日から、サミット本番です。今年のテーマは、

「Conserve、Create、Collaborate」の３つを軸に、１日毎テーマに分けてワークショップが行われました。19 日は Conserve の日です。講師陣から講義後、グループワークではその解決策や新コミュニティの創造などについて活発な意見交換をしました。特に、各大学の取り組みを紹介し合うワークショップでは、北大では行政的取り組みは積極的に行われていることが評価されましたが、他大学で多く見られる学生の自発的な活動が少ないということを気づかされました。また、エコファームで午後 2 時から夜 10 時まで堆肥作りや開墾といった農場体験をし、実際に屋外で体を使って学ぶ機会もありました。またここでの食事はなんとタンポポや草を使ったキッシュ等でおもしろかったです。もちろんこれもグループワークとした料理班が作ったものです。サミット期間はずっと栄養士の考えた菜食主義の食事でした。

20 日は、Create の日で主に研究所でワークショップでした。同時間に３つのワークショップが開催され自分で聴きたい講義を選び参加します。ここでは、経済、社会科学、環境、建築デザインなど様々な分野の専門家と共に具体的な問題解決案を討論しました。しかし外が大好きな参加者たちはワークショップを外で行ったり、休憩時間に芝生で寝転んだりと自然を愛する参加者が多いサミットを実感させられました。中には常にはだしの子もいました(！)。夜は研究所のサロンにてパーティーが開かれました。ベジタリアン食は、工夫された料理ばかりでとても興味深かったです。ただ、やはりアジア圏の参加者は慣れていないこともあり肉を欲していました。

21 日は最後の Collabolate の日です。市内のホールに場所を移し、専門家による今回のサミットのまとめが行われました。ここでは主に聴いているだけの時間が多かったことが残念です。その後修了証を頂き、閉会され、夜は Live Green Festival、Organic food market とカールスクローナとサステナビリティを同時に楽しみました。

私は、学生サミットに初めて参加しましたが、サステナビリティについて学んだだけではなく、何よりも参加者の意識の高さに驚きました。参加後半年程経つ今でも多くの参加者と交流しており、サステナビリティに関して活動している内容などが活発に公開されています。短期間ですが、一つのテーマを真剣に考え合うことで生まれる友情、繋がりはとても強く貴重だと感じます。また、参加者として参加後、ボランティアとして参加している学生も多くいました。それ程人を惹きつけるサミットでした。

World Student Environmental Summit2011
「http://2011wses.org/」